

日本一の学びの環境は 日本一大きな町にある 北海道足寄高等学校

全日制課程普通科



最高の環境を どう活かすか

村岡 麟さん

名寄市立大学保健福祉学部看護学科
令和4年3月卒業・緑南中学校出身



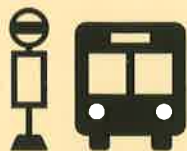
父の仕事の関係でいくつかの道内の都市や小さな町で育ってきて、高校進学を考える時は音更町にいました。担任の先生には大規模の高校を勧められましたが、私自身は大人数の中の1人よりも少人数の学校の方がより密度の高い指導を受けることができ、リーダーを経験する回数も多くなり、自分にとっては良いのではないかと考えていました。親の転勤の影響なく下宿をして3年間通して学べることや、検定受検の支援、進学率など、足寄高校が条件に合うということで受験を決めました。

中学校の部活動では総合文化部に所属していました。高校の新入生歓迎会の部活動紹介で体育館に量と的を置いて弓をひく実演に、「これはカッコいい!もうぜったいこれやりたい!」と、すぐに入部しました。弓道には基本の型があるんですが、人それぞれ骨格も筋肉も違うので、自分で完成形をつくっていく、自分で正解を見つけていくところが好きですね。まわりのみんなが上達していくなかで自分だけが結果を出せずに悩んでいたんですが、今でも思い出すのが1年生の冬の時のコーチの多治見さんのアドバイスです。そこからスイッチが入って、3年生では全国大会出場の権利を獲得しました。コロナウィルスのせいで大会が中止となったことは本当に悔しいです。多治見さんは一人ひとりの特性、性格をしっかり見極められていて、特性に合った関わり方をしていただけるので、高校から初心者で始めた部員たちでも全国大会のレベルにまで上達するのではないかと考えています。

公設民営塾には最初は週2回から始めて、学年が上がってからは大学進学に向けて週4回に増やし、それ以外にも自習に通っていました。朝は7時半に登校して1時間自習、授業を受けてその後部活を3時間、部活が終わったら下宿に帰って夜ご飯を食べて7時から塾に行って10時まで勉強して帰宅、という生活でした。中学生の時から大学進学を決めていましたが、生徒の進路希望が多様な足寄高校でモチベーションを高めるために部活も勉強も詰め込んですごくタイトなスケジュールでやって、すると身体も疲れてくるし、朝起きられないとか、集中できないとかで1年生の秋に不振に陥りました。その時に進路担当の先生から朝型の生活に変えてみることを勧められました。このままではだめだと思っていたので早速そうしたらうまくいって、卒業までこの生活スタイルで乗り切りました。

北海道内の都会にも小さな町にも住んでみて、中学生の時からなんとなく、こういうふうなことがしたくて、こういうふうに人と接していきたいくて、でこんなかんじで将来生きていきたいというか、っていうのができてきて、地方で保健師になるという具体的な将来設計図ができました。住む土地での人との出会いがすごく良くて、これは運が良いと思っています。大学では弓道の部はなかったのですが、名寄市の協会の門をたたき、2年目の今年からは大学で弓道サークルを設立しました。授業を教えていただいている先生も顧問を快く引きうけてくださいました。足寄高校、すごくいい環境だと思います。出会いも含めて、それを自分でどう活かすかということでしょうね。

足寄町の9つの支援



通学費補助



下宿代補助



入学一時金



見学旅行一時金



カナダ研修派遣補助



検定、模試代全額補助



介護職員初任者研修
費用全額補助



給食無償提供



公設民営塾通塾無料

- 公共交通機関の定期券購入代金の全額
(他の補助制度の補助分は除きますが、実質自己負担はありません。)
- 自家用車の場合は月額2,000円
(足寄町スクールバス片道利用や交通機関のバス停送迎を含みます。)
- 補助期間は12か月ですので、夏休み・冬休み期間中も有効です。
- 下宿代月額40,000円を限度に補助
- 通学費補助と同様に補助期間は12か月です。
親戚の家に下宿する場合も、契約書等があれば対象となります。
- 新入学時に70,000円を補助(入学後に支給されます。)
- 入学時は何かと物入りです。制服、ジャージ、教科書購入等、使い道は自由です。
- 見学旅行時に30,000円補助
(在学中1回限りで、見学旅行後に支給されます。)
- 足寄高校第2学年希望者全員を「国際社会に対応できる人間性豊かな人材になってもらいたい」という思いを込め、足寄町の姉妹都市カナダ・アルバータ州ウェタスキウィン市に派遣します。交通費等の渡航費用を全額補助します。例年9月～10月の6泊8日の日程で実施します。ホームステイを中心に、カナディアンロッキー、バンフ等の景勝地の視察も組み入れています。
- 足寄高校振興会の支援により、模試や検定費用を負担することで、生徒の皆さんの進路希望実現を応援します。
- 夏・冬期講習、スタディーサプリ、各種検定・模擬試験費用の全額負担
- 部活動遠征費等の助成
- 足寄町福祉課の支援により介護職員初任者研修
受講費用約10万円の全額負担
- 小中学校へ提供している学校給食を、
希望する生徒へ無料で提供します。
- 足寄高校の生徒であれば無料で通うことが出来ます。
- 生徒の進路希望や学力レベルに応じて個別指導を行い、学力向上を支援します。



足寄高校の特徴的な教育体制

POINT1 一人ひとりの学びの意欲に応えるカリキュラム

学びの興味関心に応える多彩な選択。英語と数学では得意を伸ばし、苦手じつくり取り組むことができる習熟度別の授業展開。一人ひとりの進路希望をかなえる主体性をサポートします。

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	公共	数学Ⅰ	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	家庭基礎	総合探究	LHR															
2年	論理国語	古典探究	日本史探究		数学Ⅱ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅡ	情報Ⅰ	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ	選択Ⅴ	選択Ⅵ	物理基礎	数学B	地学基礎	消費生活	音楽Ⅱ	総合探究	LHR							
3年	論理国語	古典探究	地理総合	体育	英語コミュニケーションⅢ	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ	選択Ⅴ	選択Ⅵ	生物研究	発展数学	英語Ⅱ	近現代史	倫理	政治経済	数学C	数学Ⅲ	物理	化学	総合探究	LHR							
												保育基礎	ワードデザイン	文学用語	読書基礎	情報処理														
												課題探究	演奏研究	英語スピーチ	簿記															

主な進路実績 過去5か年

【進学】

弘前大学 福知山公立大学
北海道教育大学 宮城教育大学
北見工業大学 室蘭工業大学
信州大学 名桜大学
札幌市立大学 名寄市立大学
旭川市立大学 小樽商科大学
公立千歳科学技術大学 釧路公立大学
秋田公立美術大学 同志社大学 亜細亜大学
金沢工業大学 日本医療大学
札幌医療保健大学
北海道学大学 北星学園大学 北海商科大学
札幌学院大学 札幌大学 藤女子大学
青森大学 札幌国際大学 北海道科学大学
北海道情報大学 酪農学園大学 函館大学
北海道千歳リハビリテーション大学
日本赤十字北海道看護大学
山形県立米沢女子短期大学
札幌国際大学短期大学部

帯広大谷短期大学
帯広高等看護学院 他

【就職】

国家公務員 北海道職員
足寄町役場 陸別町役場
士幌町役場 芽室町役場
清水町役場 豊頃町役場
北海道警察
野口観光株式会社 帯広信用金庫
斉藤井出建設株式会社
足寄町社会福祉協議会
足寄町農業協同組合
道東建設株式会社 他

進路希望別 科目選択例

大学理系	2年選択	物理基礎	3年選択	数学C	数学Ⅲ	物 理		化 学		
大学文系				数学B			選択Ⅰ	近現代史	倫理	政治経済
公務員		地学基礎			生物研究	発展数学				
				課題探究		文学国語		ビジネス	情報処理	

POINT2 高塾連携の学習サポート

足寄高と足寄塾は毎月定期的に担当者の会議を行い、足寄高生一人ひとりの学力向上と進路実現に最適なサポートのあり方を協議しています。学習の理解度や進捗状況は全校生徒が登録・利用している『スタディサプリ』で把握します。

高塾連携 実務者会議



ハイブリッド個別指導



情報共有と協議



スタディーサプリ
進路希望
定期的な塾訪問

POINT3 4つの力を引き出す『総合的な探究の時間』

小学校の「調べ学習」、中学校の「総合的な学習」を経て、高校では自分で社会の課題や問題を見つけて解決していく『総合的な探究の時間』。1年生では地元足寄町の産業や学術に問いを立てます。2年生ではカナダ・アルバータ州ウェタスキウィン市と足寄町の姉妹都市交流海外派遣研修でのフィールド拡張も可能です。

卒業までに育成を目指す資質・能力

読解力・分析力 プレゼンテーション能力

コミュニケーション能力 課題解決能力



探究を支える 足寄町役場 足寄町教育委員会 足寄動物化石博物館 足寄町観光協会
学びの応援団 十勝総合振興局農務課 九州大学北海道演習林



全国屈指の学習環境

足寄町の支援で、安心して全力を注げる。



小嶋 日向太さん(2年・札幌中央中学校出身)

帯広に住んでいる僕の従兄弟が今の足寄高校野球部の先輩の友人だったことがきっかけで知って、足寄高を選びました。自立した高校生活を送りたかったのが動機です。下宿では友人と話をしたり、一緒に買い出しにいたり、さびしいかんじは全くないです。料理は自宅でもしていたので、下宿の自室でもよくしています。部屋の掃除がちょっと苦手なんです(笑)6時間半かけて自宅に帰ると、家族の良さ、ありがたみを感じますね。



波多野 稜久さん(3年・陸別中学校出身)

バスに乗っている時間は往復で1時間半です。朝7時に自宅を出発し、帰りはバスケットボールの練習後19時半足寄発に乗ります。バス通学は規則正しい生活習慣が身に付きます。乗っている時間は普段の勉強や検定、模試の勉強をしたり、音楽を聴いたり好きなことをして過ごしています。足寄町の補助で親の負担を減らせるのが良いです。



新沼 日奈子さん(3年・足寄中学校出身)

授業の予習・復習、検定や受験準備と勉強全体に活用しています。家庭学習では不十分なところを補いやすく、勉強のペースメーカーになっています。基礎的なことから大学入試共通テストまで対応していて、各項目が5分程度の映像教材がいくらでも使えて、わからないところがあれば対面で講師にすぐ質問できます。1、2年は週1~2回、3年生では大学受験のため回数を増やせますし、部活に取り組みたい人も練習や試合の予定に合わせて日程や内容を調節していただけます。検定や模試の受験にあたって過去問題や分野別問題で対策もできるので、自分の目標にあわせて積極的に取り組みます。検定も模試も含め、通塾が無料だというのは本当にありがたいです。



青木 佑介さん(2年・足寄中学校出身)

将来の進路のために英語検定や漢字検定を受験してきました。塾にしても検定にしても、これだけ勉強のサポートが充実している高校はそうないと思うので、これからも上の取得を目指して受け続けます。



学校行事

仲間との楽しい思い出が、協調性、耐性、国際理解、様々な力になる。



生徒会行事の運営では、生徒会執行部役員を中心に全校生徒のリーダーシップ・フォロワーシップがいかんなく発揮されます。



部活動

野球部
弓道部
陸上部
バレーボール部
バドミントン部
バスケットボール部
卓球部
ボランティア部
茶道部
演劇部
吹奏楽局



斉藤 新さん 野球部主将
(3年・帯広第二中学校出身)

中学校の時に推薦もいただいていたのですが、いろんなチームの練習を見学してみても、元プロ選手の池田監督のもと、選手が主体的に自分たちで考えて野球をやっているように感じた足寄高に決めました。下宿をして通学することで自立心を鍛えることができます。3年生の今、最後の大会に向けてチームもいい状態です。3年間はあっという間ですね。





北海道足寄高等学校

〒089-3732

北海道足寄郡足寄町里見が丘5番地11

TEL 0156-25-4421

FAX 0156-25-2269

e-mail ashoro-z1@hokkaido-c.ed.jp

<http://www.ashoro.hokkaido-c.ed.jp>



学校紹介動画公開中